

報道関係者各位

2018年4月4日

沢井製薬株式会社

メロペネム点滴静注用 0.25g / 0.5g 「サワイ」

- 用法・用量追加承認取得のお知らせ -

沢井製薬株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：澤井光郎）は、本日4月4日、メロペネム点滴静注用 0.25g / 0.5g 「サワイ」につきまして、「用法・用量」の追加承認を取得したことをお知らせいたします。

これにより、先発品と同様に使用していただけるようになりました。

<p>効能・効果</p>	<p>1. 一般感染症 <適応菌種> メロペネムに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、髄膜炎菌、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、大腸菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、プロビデンシア属、インフルエンザ菌、シュードモナス属、緑膿菌、バークホルデリア・セパシア、バクテロイデス属、プレボテラ属 <適応症> 敗血症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肛門周囲膿瘍、骨髄炎、関節炎、扁桃炎（扁桃周囲膿瘍を含む）、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、複雑性膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、肝膿瘍、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、化膿性髄膜炎、眼内炎（全眼球炎を含む）、中耳炎、副鼻腔炎、顎骨周辺の蜂巣炎、顎炎</p> <p>2. 発熱性好中球減少症</p>
<p>用法・用量 （下線部分が追加項目）</p>	<p>本剤の使用に際しては、投与開始後3日を目安としてさらに継続投与が必要か判定し、投与中止又はより適切な他剤に切り替えるべきか検討を行うこと。</p> <p>1. 一般感染症 <u>○化膿性髄膜炎以外の一般感染症</u> 通常、成人にはメロペネムとして、1日0.5～1g(力価)を2～3回に分割し、30分以上かけて点滴静注する。なお、年齢・症状に応じて適宜増減するが、重症・難治性感染症には、1回1g(力価)を上限として、1日3g(力価)まで増量することができる。 通常、小児にはメロペネムとして、1日30～60mg(力価) / kgを3回に分割し、30分以上かけて点滴静注する。なお、年齢・症状に応じて適宜増減するが、重症・難治性感染症には、1日120mg(力価) / kgまで増量することができる。ただし、成人における1日最大用量3g(力価)を超えないこととする。</p> <p><u>○化膿性髄膜炎</u> 通常、成人にはメロペネムとして、1日6g(力価)を3回に分割し、30分以上かけて点滴静注する。なお、年齢・症状に応じて適宜減量する。</p>

	<p><u>通常、小児にはメロペネムとして、1日 120 mg(力価) / kg を3回に分割し、30分以上かけて点滴静注する。なお、年齢・症状に応じて適宜減量する。ただし、成人における1日用量 6g(力価)を超えないこととする。</u></p> <p>2. 発熱性好中球減少症 通常、成人にはメロペネムとして、1日 3g(力価)を3回に分割し、30分以上かけて点滴静注する。 通常、小児にはメロペネムとして、1日 120 mg(力価) / kg を3回に分割し、30分以上かけて点滴静注する。ただし、成人における1日用量 3g(力価)を超えないこととする。</p>
--	---

◆お問い合わせ先◆

沢井製薬株式会社 戦略企画部 広報・IR グループ

TEL : 06-6105-5718 / E-mail : koho@sawai.co.jp